

## 2. 火山の概況 (平成 15 年 7 月 24 日 ~ 平成 15 年 7 月 30 日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発であった。桜島、薩摩硫黄島は噴火した。諏訪之瀬島では微動が発生した。

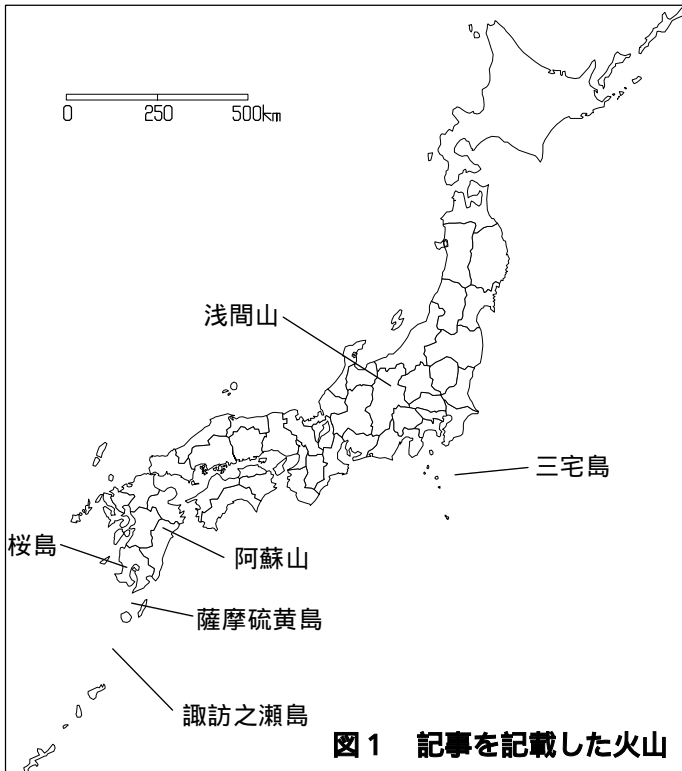


図 1 記事を記載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	樽前山	蔵王山	浅間山	三宅島	阿蘇山	桜島	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
31	7/24- 7/30								
30	7/17- 7/23								
29	7/10- 7/16								
28	7/ 3- 7/ 9								
27	6/26- 7/ 2								

### 注 1 記号の意味

- ：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ：前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

### 浅間山 [地震・微動・熱]

6 月末頃から振幅の小さい地震の回数が増加しており、今期間は 1 日あたり 40~74 回観測された。また振幅の小さい微動は 4 回観測された。

山麓の監視カメラでは、悪天のため噴煙は観測できなかった。

群馬県林務部が火口内観測用に設置している高感度カメラ及び赤外カメラでも、悪天のためほとんどの期間観測ができなかったが、赤外カメラで火口内の高温部が引き続き確認された。

GPS による地殻変動観測では、特に異常な変化は観測されなかった。

### 三宅島 [火山ガス・噴煙・地震]

29 日に気象庁が行った火山ガス観測<sup>1)</sup>では、二酸化硫黄の放出量は日量 3,000~5,000 トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった(図 2)。

また、同時に気象庁、産業技術総合研究所及び大学合同観測班が行った上空からの観測<sup>1)</sup>では、主火口からの白色噴煙の放出が継続し、火山ガスを含む青白い噴煙が火口上空から北方へ流れていた。火口の状況等は雲による視界不良のため確認できなかった。

監視カメラによる観測では、白色噴煙は連続的に噴出しており、最高で火口縁上 500m まで上がった(25 日、27 日)。

振幅の小さいやや低周波の地震は、24 日には 46 回観測されたが、その後は 14~23 回と落ち着いた状態で推移した。期間中、規模の大きな低周波地震は発生しなかった。

GPS による地殻変動観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は収まっている。

1) 海上保安庁の協力による

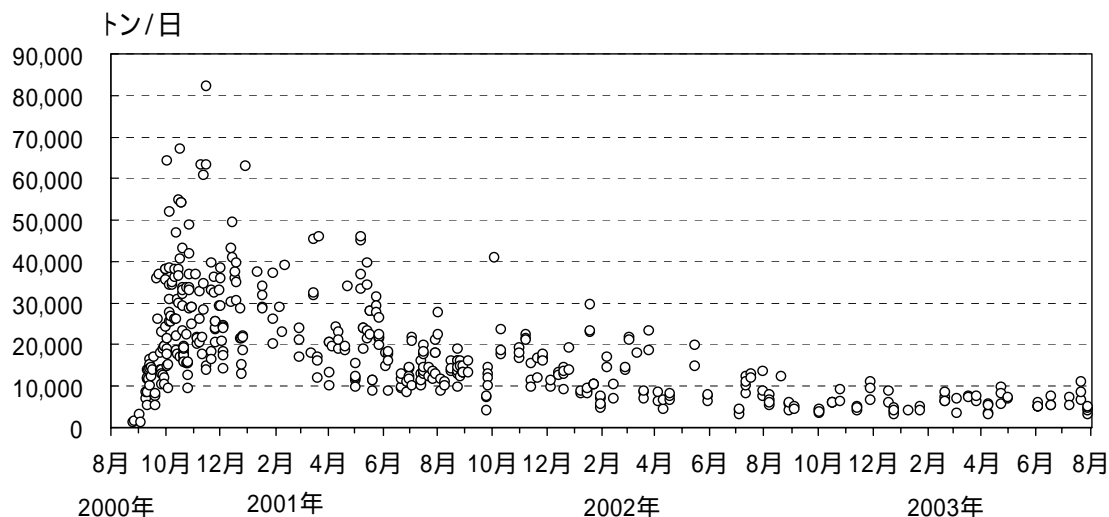


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移(2000年8月26日～2003年7月29日)

### 阿蘇山 [熱・微動]

27日14時頃から微動が連続して発生するようになり、浅部の熱的な活動がより高まっている。また、孤立型微動が増加し、日回数は53～132回、合計は653回であった(前期間は439回)。

中岳第一火口内の状況は、28日に実施した現地観測によると、湯だまりの色は灰色で茶色の浮遊物があり、中央部で噴湯現象が認められた。湯量は9割であった。湯だまり表面温度の最高は76(前回(22日)77)と依然高い状態が続いている。

噴煙の状況は、少量の白色噴煙が連続的に噴出しており、最高は火口縁上600mであった(前期間は500m)。

期間中、土砂噴出に伴うとみられる震動は観測していない。また、地震活動、地殻変動等その他の観測データには異常な変化は観測されなかった。

### 桜島 [噴煙]

期間中、噴火が1回あった。爆発はなかった(前期間は噴火1回、爆発はなし)。噴煙高度の最高は800m以上(灰白色)であった。鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)では、降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

### 薩摩硫黄島 [噴煙・微動・降灰]

26日08時30分頃～14時10分頃に断続的に噴火し、火山灰を含む灰色の噴煙が最高で火口縁上800mまで上がるのを確認した。前期間の18日01時57分に始まった微動が全期間にわたって継続するなど、火山活動はやや活発な状態で推移した。

三島村役場によると、27日及び30日に島内の北側で少量の降灰を確認したが、集落(硫黄岳の西約3km)には降灰はなかった。

### 諏訪之瀬島 [地震・微動]

今期間、爆発的噴火はなかった。また、十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、島内の集落(御岳の南南西約4km)では降灰は確認されなかった。監視カメラによる観測では、今期間は視界不良の為、噴煙等の観測はできなかった。

微小なB型地震が27～28日に増加し、日回数は27日115回、28日159回となった。今期間の発生回数は359回であった(前期間は288回)。また、継続時間の長い微動がたびたび発生した。

**表2 火山情報発表状況**

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第406号	24日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	（1日2回発表） 火山観測情報第419号	30日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第13号	28日 16:00	微動が連続的に発生。
薩摩硫黄島	火山観測情報第5号	26日 10:40	噴火活動の活発化。
	火山観測情報第6号	27日 10:00	噴火活動は収まった。